

## 「あわてんぼうのサンタクロース」和田

今年もやってきましたこの季節。12月になると、なんだかワクワクしてきます。ここでクリスマスの雑学をひとつ!!

『グリーンランド国際サンタクロース協会』という団体がデンマークにあるそうです。この協会では「公認サンタクロース」を選定しており、公認となったサンタさんは世界各地で活動しているそうです。また、毎年7月には「世界サンタクロース会議」が開催されているそうです。というわけで僕も今から世界サンタクロース会議に出席してきます。少し早いですが素晴らしいクリスマスをお過ごしください。メリークリスマス!!

もしよろしければ、お手元のスマホでQRコードを読みとっていただきながら本文に目をおしていただければ、よりいっそうクリスマス感がでると思います。



# 日本フルハップ アドバイザー

(保険代理店)

平成29年11月17日付でアドバイザー(保険代理店)登録しました。コマーシャル等でよく見聞きする「フルハップ」。登録して届いた資料を見て、その補償内容の豊富さにビックリ!!ご興味のお有りの方は、ぜひ担当者にご相談下さい。きっと「え?そんなことでお金もらえるの?」状態になりますよ。

## 偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

### 【徳川の治世を盤石に：徳川家光】

徳川家康を祖父に持つ江戸幕府3代将軍・徳川家光は1604年、江戸城西の丸で2代将軍・秀忠の長男として生まれました。生まれながらに将軍の座



を約束されていたはずが、弟・忠長が生まれると状況は一変両親は忠長を偏愛し家光は親に愛されず家臣にも軽んじられて不遇の幼少期を過ごします。事態が変わったのは家光が11歳の頃。祖父である家康が徳川家の跡継ぎとして家光を指名したのです。19歳で3代将軍に就任するも当時はまだ父・秀忠が権力を握っていました。28歳の頃、秀忠の死去を契機に家光の親政が始まると、その手腕を発揮していきます。軍備の再編、武家諸法度の改定、諸大名の大規模なお家取り潰し、江戸城普請により大名の財政をひっ迫させるなどの大名統制、島原の乱を受けての鎖国政策の強行など、

徳川の治世を盤石にしたのでした。こうした幕藩体制の強化と並び、家光の偉業として知られるのが日光東照宮の大造替です。家康を祭るために秀忠により創建された日光東照宮は、当初かなり質素だったそうです。家光は巨額の費用を投じ50棟を超える社寺に「陽明門」「三猿」「眠り猫」などを建造。これは現在では高い歴史的価値が認められ、1999年にユネスコ世界文化遺産に登録されました。自分を将軍にしてくれた家康への感謝と尊敬が、家光をこの大事業に向かわせたようです。

今を生きる

### 先人の言葉

一汲み出す  
一升より  
一滴

三菱財閥の創業者である岩崎弥太郎の言葉。樽の上からすくって飲む(大金を使う)程度ならいい。怖いのは樽の底から一滴でも漏れる(締まりのない家計)ことだ。

# トレンドを斬る!

東京・渋谷の「ハイリーファイブカフェ」は女性客を意識した漫画喫茶です。エステサロンのようなエントランスに輸入菓子

が並ぶショップ、アロマディフューザーのレンタルもあり、若い女性が利用者の大半を占めています。またオートロック式の個室は完全防音でプライバシーを保てることから、自分専用のオフィスとして仕事をしたり打ち合わせに利用するビジネスマンも増えているとか。漫画を読む以外にも、プライベート空間としての新たな需要が広がりそうです。



## 365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント: 【夢は本当になうのかな?】

ある人から次のような話を聞きました。小学4年生のK子ちゃんは「私の夢はイルカの調教師」という作文を書いたそうです。けれど書き終えた後「夢って本当になうものなのかな? どうしたら夢がかなうのか



かな?」という不安と疑問を持った彼女は、夏休みの自由研究のテーマを「夢は本当になうのかな?」に決めたそうです。夢について書かれた本を読んだり、夢をかなえた有名人をインターネットで調べたりしました。また「夢はかないましたか?」というアンケートを自分で作っていろいろな職業の人に書いてもらったり、直接話を聞いたりして自由研究をまとめたそうです。

ノーベル賞を受賞した山中伸弥教授の本を読んで「どんどん試して失敗することが大切です」という言葉に勇気もらったK子ちゃんは、京都大学iPS細胞研究所を訪ね、国際広報室の人にも話を聞いたようです。果たしてK子ちゃんの結論はどうだったのでしょうか。

「夢はかなう。けれど夢はかなえるもの」これがK子ちゃんの研究成果でした。夢をかなえるために必要なのは準備や行動だけでなく、まずは楽しむこと。好きなことにアンテナを張って毎日を生き生き過ごすこと。やりたいことが見付かったら日付を決めて「夢」を「目標」に変え、その目標に向かって努力すること。失敗も大事な経験だから挑戦すること。さらには福澤諭吉の『学問のすゝめ』から「学問に入らば大いに学問すべし。農たらば大農となれ、商たらば大商となれ」という一文を引いて「どうせやるならとことんやろう。こうして夢はかなうのです」とまとめています。



K子ちゃんのアンケートには「夢をかなえるために必要なことをひとつ教えてください」という質問があるそうです。あなたなら何と答えるでしょう。「81%以上の人が夢がかなっていません。これはキラキラした明るい事実です」というK子ちゃんの言葉に背中を押されるのは、むしろ大人たちかもしれないですね。子どもたちに「夢はかなうよ」と言える大人でありたいと思った年の瀬です。

トナリの

## 本棚



### 【家康、江戸を建てる】

「徳川家康が江戸を作った」。その史実を、実際に力を尽くした職人たちの目線で描かれた物語です。利根川の川曲げ、神田上水の建設、貨幣統一、江戸城の石垣積み。無名の技術者の知恵と技術に感嘆し、東京のルーツに思いをはせる一冊です。

### 船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: [info@f-office301.com](mailto:info@f-office301.com)

皆様のご感想をお待ちしております ☺☺☺☺☺☺